



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話☎2111 内線240



ねぶたの競演

八月十四日
ねぶた合同運行



1998
9

No.389

助役に 角田 昭次氏

第百六十五回町議会定例会で助役に角田昭次氏の人事案件が提出され、賛成多数で承認されました。

角田氏は、昭和三十二年から金木町職員として三十五年間勤務。この間、総務課長、企画室長、議会事務局長などを歴任し、平成五年から一期助役を務める。

「行政も民間も今、あらゆる分野において大変厳しい状

況に置かれています。このこ

とを自覚し、二度目の助役就任ですが、これまでの反省と経験を生かし、町長を補佐し、町のため町民のため、全力投球するつもりです。皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。」

◎座右の銘

「雲の上は青空」

(六十一歳)



金木中 野球部

少年野球県大会で優勝 — 15年ぶり2度目 —



▶15年ぶりの優勝に輝いた
金木中野球部

鱒ヶ沢町で行われた第二十九回県少年野球大会「中学の部」に出場した金木中野球部（監督＝秋元裕教）が、十五年ぶり二度目の優勝に輝きました。

同野球部は今大会まで、県内外の強豪チームと練習試合を数多くこなし、常に上位を目指してきました。しかし、先に行われた県中学校体育大会では期待されていたものの初戦で敗退し、県大会ではなかなか結果がでませんでした。三年生部員にとっては、中学生生活最後の試合となった同大会では、秋元監督が「気力、体力、技術の充実」というとおり、エース前田投手の力投、内外野手の好守など、最後の大会でようやく「有終の美」を飾ることができました。

秋元監督、斎藤雄太主将はじめ真っ黒に日焼けした部員二十名が八月二十一日、役場を訪れ、大会経過を報告。鳴海町長は「優勝おめでとう。この中から甲子園で活躍する選手が出てほしい」と健闘をたたえるとともに、今後の活躍に期待していました。

金木中 相撲部

団体・6年ぶり

東北大会制覇

個人・全国大会

中村君2年連続準V



▲左から田中(誠)、長尾(和)、中村(陽) 新岡(秀)、松尾(大)選手

「いま史上最強だ！」

金木中相撲部

金木中学校相撲部が八月二、三日に秋田県で行われた第十九回東北中学校相撲大会団体戦に出場し、見事団体優勝を飾ったほか、八月二十、二十一日に岩手県で行われた第二十八回全国中学校相撲選手権大会個人戦に出場した同校三年、中村陽仁君が昨年に続いて二年連続の全国大会準優勝に輝きました。

東北大会では、県予選決勝で敗れている中里中に目標を置き、予選リーグ戦を無敗で決勝トーナメントへ進出。メンバーは長尾和明(三年)、田中誠純(同)、中村陽仁(同)、新岡秀一(二年)、松尾大志(同)選手。準々決勝、準決勝と順調に勝ち上がり、迎えた決勝の相手は予想通り中里中。県

予選決勝の再現となった戦いは、まず先鋒の新岡君が勝利したが、中堅松尾君が敗れて一勝一敗。大黒柱の中村君が大將戦を制して六年ぶりの東北大会優勝をもたらしました。全国大会に出場した中村君は「体調も万全。絶好調」と臨んだ試合では、一回戦から四回戦、準々決勝と危なげなく勝ち上がり、優勝候補と目された昨年全国三位の長崎県小ヶ倉中の北園君と準決勝で対戦。攻められはしたものの、土俵際のうっちゃりで逆転勝ちし決勝戦へ。「実は昨年の準優勝で、今年はそれ以上の声があった(プレッシャーを感じていた)」と中村君、決勝の相手は一回り体の大きい高知県明德義塾中の菊次君。

「立ち合い負けするな」のコーチ陣のアドバイスを受け、いざ決勝の土俵上へ。相手に押されまいと低い姿勢で立つものの、逆に上から覆いかぶされ、まわしを取られてしまい一瞬の引き落としで土俵上にはばったり。力を出し切れず、思わず土俵をたたく姿に悔しさがにじんでいました。

「敗れはしたが、決勝戦まで残れてほっとしている」と、中学横綱は逃したが、その表情には二年連続全国準Vの満足感が漂っていました。この快挙をたたえようと八月三十日、中央公民館で百三十名が出席して祝賀会が行われました。鳴海町長は「東北、全国大会での好成绩は、たやすいことではない。もう一つ上を目指し、ますます努力をして、さらなる飛躍をしてほしい」と祝福しました。金木小の後輩ビッコ力士から花束を贈られ、選手を代表して長尾主将が「これからも一生懸命に練習を頑張りますので応援をお願いします」とお礼を述べました。出席者の一人は「よく頑張った」と褒めてやりたい。できることなら金木町からの関取になってほしい」と今後の活躍を期待していました。この日に行われた大会でも団体優勝した同部は、今年だけでも七大大会を制覇。壇上に並ぶ優勝旗や優勝楯が、その活躍ぶりを物語っていました。

ま ち の び き び と

「大変ありがたい」と
喜ぶ両校長



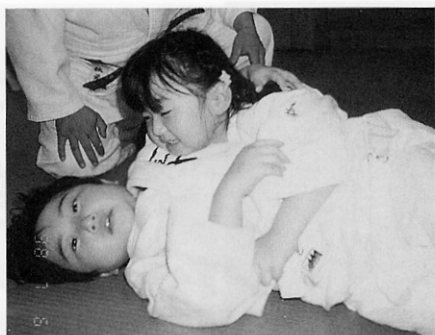
県信用組合さつき会

金中・南中へ

図書券寄贈

青森県信用組合金木支店長の梅内幸夫さんと同さつき貯蓄会会長の其田兼春さんが役場を訪れ、チャリティバザーの益金で購入した図書券をこのほど、町に寄贈しました。

「子供たちの学校図書の購入に役立ててください」と寄贈された図書券を八月三十一日、成田教育長が長谷川正夫・金木中学校長と小笠原勲・金南中学校長に贈呈しました。図書券を受け取った両校長は「今現在、学校には太宰作品がわずかしかなく、これを機に太宰文庫の充実を図りたい」と話していました。



練習では女の子が
男の子を倒す場面も

防犯柔道スポーツ教室

45人の子供が参加

金木町柔道会（会長 金本敬夫）による防犯柔道スポーツ教室が開催され、小・中学生の児童生徒が基本技術を習得しました。

青少年の犯罪防止や、実社会での礼儀と心身の育成を目的に行われた教室には、男女

あわせて四十五人が参加。六月一日から八月三日までのうちの十日間、金木警察署内の柔道場で行われました。

参加した子供らは、基本動作やルール、マナーを学び、最終日には一人ひとりに終了証書が手渡されました。

会 金 寿
オートキャンプ場の
草取りに汗

役員職員OB・OGで組織する金寿会（会長 土岐伊久雄）がこのほど、オートキャンプ場内の草取りなどに汗を流しました。

平成五年から使用されてい

るオートキャンプ場は、夏休みともなると町内外から大勢の親子連れなどが訪れ、にぎわいをみせています。このキャンプ場に昨年、ラベンダーが植え付けられ、美化整備も着々と進んでい



▲会話を楽しみながら草取りに精を出す金寿会のみなさん

「私らも何らかの形で役立ちたい」と金寿会では、年間を通してオートキャンプ場を中心に草取りや周辺の清掃活動に一役買っています。

草取りをしながら、「元氣よく咲いているラベンダーを眺めているのは、いいもんですよ」と土岐会長は話していました。

▶盆踊りやカラオケ大会を
楽しむお年寄りのみなさん



▲威勢よく祭りを
盛り上げる商工会青年部

金木夏まつり

多彩なイベントを楽しむ

「金木夏まつり」が八月十四日から十六日まで行われ、期間中のさまざまな催しに大勢の町民らが訪れました。今年はどうとう梅雨明けされなかつた。「夏」でしたが熱気は例年以上で、特にねぶた運行が行われた夜には小さな子供らが大声で掛け声を出しながら、町内を勇壮なねぶた

が練り歩きました。また、二十二日には今年で五回目を迎えた24時間テレビ「愛は地球を救う」協賛、残暑DE祭りDA'98チャリテイビアガーデンが開かれ、カラオケ大会やビンゴゲーム、チャリテイバーゲンなどのイベントに過ぎ行く夏を惜しむ人たちににぎわいました。

盆踊り大会

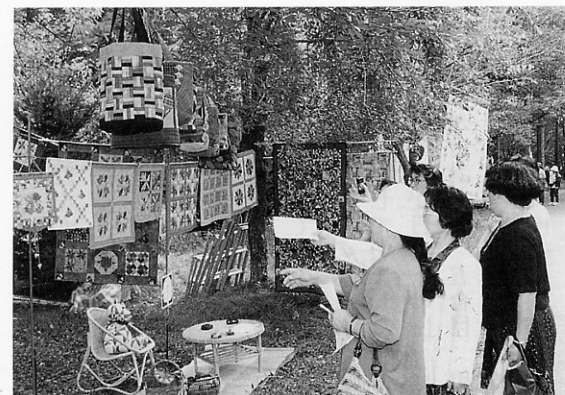
仮装行列に大爆笑

サンライフかなぎ

老人保健施設・サンライフかなぎ（理事長 角田弘子）で八月九日、「夏祭り盆踊り大会」が盛大に行われました。会場となった大ホールには、入所者や職員、ボランティアなど二百人余りが集合。ねぶた衣装や浴衣、仮装姿に変身した参加者が、大きな輪になって踊ったり、入所者と一緒にからオケ大会などで親ほくを深めました。今年で五回目となる夏祭りを企画している同施設では、「日常生活では味わえない祭りをみんなで楽しんで、お盆に気分よく家に帰ってもらいたい」と話していました。出店コーナーには、職員からメロンやスイカが差し入れされ、無料で訪れる人たちに振る舞われていました。

自然の中でのキルト展

芦野公園に500点展示



▲訪れた人は見事な出来映えに感激

この展示会を呼び掛けたの
この展示会を呼び掛けたの
てみたいと遠路から訪れた人
たちが足を止め、趣
向を凝らした作品に
感激していました。
小さな子供たちも
「私も作ってみたい」
と興味を示していま
した。
ベツトカバーや手
さげ袋、ベストや人
形が園内のいたるところに飾られていて、
桜並木ならぬ「キルト並木」が深緑の公園内に映えています。

キルトを愛する仲間たちが自作の作品を展示する「パッチワーク合同展」が九月七日、芦野公園内で開かれました。会場には、近隣十市町村から二百名が参加し、展示された作品は約五百点。「自然の中のキルト展」と題した合同展は、県内ではもちろん、全国的にも珍しい催しとなりました。
公園に散策に来ていた親子連れや、いろいろな作品を見てみたいと遠路から訪れた人たちが足を止め、趣向を凝らした作品に感激していました。小さな子供たちも「私も作ってみたい」と興味を示していました。ベツトカバーや手さげ袋、ベストや人形が園内のいたるところに飾られていて、桜並木ならぬ「キルト並木」が深緑の公園内に映えています。

金木中学校 修学旅行で河口湖町へ



金木中学校（校長 長谷川正夫）の二年生九十八人が、九月の修学旅行で当町と友好都市関係にある山梨県河口湖町を訪れました。

現地到着後、宿泊ホテルに渡邊澄雄河口湖町教育長らが長谷川校長にあいさつに姿をみせ、大変歓迎され、また生徒一人ひとりには記念品がプレゼントされました。河口湖町を訪れた二人の生徒に感想をつづってもらいました。

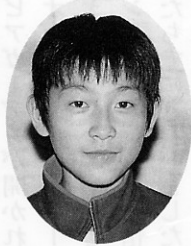
河口湖の風景



2年A組
工藤真奈美

私の泊まったホテルの部屋からは河口湖が見えました。それは、今まで見た事のある湖とは何倍も違うものでした。河口湖は大きいしきれいだし、何よりもすごい事は、富士山を映す鏡だという事です。残

金木と河口湖



2年B組
工藤浩一

僕の住んでいる金木町には友好都市があります。その友好都市の相手は、ここからずっと離れている山梨県の河口湖です。河口湖町にはとってもきれいな湖があり、晴れた日になると湖面に逆さまに映った富士山が見えます。金木町にも芦野湖という湖があ

念ながら本物の逆さ富士は写真でしか見られなかったけど、とてもきれいに富士山が河口湖に映っていました。

河口湖方面へは、修学旅行の一日目に行きました。一日目という事で、結構いろんな事に気合が入っていて、富士山や河口湖に行くのもうれしくてワクワクしていました。

富士山はさすが日本一の山という事だけあって、五合目あいにくの天候で山の谷間は真っ白、富士山の大きさもハ

ツキリ分かりませんでした。河口湖は、夜にホテルの部屋から見た時とても感動しました。それは、いろいろな光がすべて湖に映っていたからです。金木では、決して見れない景色だと思います。こんな美しい町に住んでいる人がとてもうらやましく思います。そして、河口湖町と友好都市になって、今ともうれしく思い、また行きたいという気持ちでいっぱいです。

いつか、自分の目で河口湖に映る逆さ富士を見たいです。

りますが、河口湖で釣れる魚は芦野湖より人一倍大きいです。ところで、僕は修学旅行でこの町のホテルに泊まりました。そこからは富士山と河口湖に映る逆さ富士が見えるはずでしたが、あいにくの曇り空で逆さ富士が見られませんでした。でも、そんな天気悪い中でも、釣り人が何人か見られました。そんな自然環境がいいところでも、今年梅雨明け宣言が出されていないせいか、ニュースで河口湖町は今年、冷害だと伝えられています。

確かに今年の夏は雨が多く、日本全国の各地も洪水や大雨などのさまざまな水害に見舞われました。金木にもたくさん雨が降り、カラッと晴れた日はあまりありませんでした。天気は変えることができないので仕方ないです。しかし、いつかの町に行く機会ができたとしたら、今度こそ本当の河口湖に映る逆さ富士が見たいです。そして、もっとも河口湖町と金木町の交流が深まっていけばいいなと思います。

太宰をしのぶ ⑤ 金木町「太宰ゆかりの地」(4)

金木町太宰会々長
木下 巽

「原の店」跡

「ヤマハラ」
太宰さん小学校のころ、よく遊びに行ったところが「原の店」であったということです。

太宰さんより十五歳年長の次姉としさんが、大正二年津島市太郎さんに嫁いでいます。その長男が津島逸朗さんで、太宰さんより四歳年下です。

その家は「原」と号し、文房具販売を兼ねた雑貨商を営んでいました。現みちのく銀行駐車場付近が「原」の跡地です。親戚で、生家の二軒となりです。で、通帳一つで本を買うことができたということです。と

くに太宰さんは「原」に気が合った遊び相手（逸朗）がいたため、通学の行き帰りに頻りに立ち寄ったものだと書かれています。生家の大邸宅より、だれにも気がねのいらな

い（原で時を過す方が、太宰さんにとって何より楽しかったの）でしょう。『思ひ出』に「小学校三、四年のころ、

・一軒置いて隣の小間物屋では書物類もわずかに賣つてゐて、ある日私は、そこで婦人雑誌の口繪などを見てゐたが・・・」と、描いています。

「葡萄畑」跡

「思ひ出」に描かれている、みよさんと葡萄がりました場所は、現青森銀行駐車場の裏側（東南寄り）にあったといふこととです。これは野呂郁三さんの綿密な調査報告によって確認され、「太宰散策マップ」に位置づけられています。

また、増補版『回想の太宰治』「アヤ（中西新吉）の懐旧談」に葡萄畑が紹介されています。「原の向かいには銀行と警察署が並び・・・（略）」

「源のまん前は（源の島で、その奥は八幡様、左隣は鳴海医院。この島の鳴海家より）に馬車小屋、その奥に葡萄畑があった。葡萄畑は三間に二間ほどの広さでヒバの柱とタルキ

で二メートルほどの高さの棚が作られていた。・・・実が熟すころになると侵入して荒らすものを防ぐため、よしずで四方を囲った。黒っぽい紫色の大粒の葡萄で（源自慢の一つだった。）とあります。作品『思ひ出』には、「私は



▲太宰がよくぶどう狩りをした場所

が作られていた。・・・実が熟すころになると侵入して荒らすものを防ぐため、よしずで四方を囲った。黒っぽい紫色の大粒の葡萄で（源自慢の一つだった。）とあります。作品『思ひ出』には、「私は

むかひの畑に葡萄を取りに出かけた。みよに大きい竹籠を持たせてついて来させた。私にはできるだけ気軽なふうで、よにさう言ひつけたのだから、誰にも怪しまれなかつたのである。葡萄棚は畑の東南の隅

にあつて、十坪ぐらゐの大きさにひろがつてゐた。葡萄の熟すころになると、よしずで四方をきちんと圍つた。私たちは片すみの小さい潜戸をあけて、かこひの中へはひつた。なかは、ほつかりと暖かつた。二三匹の黄色いあしながばちが、ぶんぶん言つて飛んでゐた。朝日が、屋根の葡萄の葉と、まはりのよしずを透して明るくさしてゐた。みよの姿もうすみどりいろに見えた。（略）・・・みよは、私の渡す一房へ差し伸べて寄こした片手を、ぴくつとひっこめた。私は葡萄をみよの方へおしつけ、おい、と呼んで舌打ちした。みよは、右手の附根を左手できゅつと握つていきんでゐた。刺されたべ、と聞くと、ああ、とまぶしそうに眼を細めた。ばか、と私は叱つて了まつた。みよは黙つて、笑つてゐた。（略）・・・みよはもう私のものにきまつた、と安心した。」と描いています。

奥野氏は、この葡萄がりの描写は青春と色彩感、秘めた抒情にあふれ、太宰治の文章でもっとも美しい場面と称賛しています。また、太宰さんがこれほどひとりの女性についてときめき、愛情を書いたことはないし、みよは赤い糸に結ばれた初恋の人、宿命的な永遠の恋人であつたと解説しています。初恋の人と言われる「みよ」のモデル宮腰トキ（十四歳）が、大正十四年ころ、行儀見習いを兼ね、長兄夫妻の小間使いとして津島家に住み込んでいます。丸顔で目の大きい清楚な感じのトキは、若き日の入江たか子に似た素晴らしい美人であつたといふこととです。

しかし中学最後の冬休みに帰つてみると、みよはいません。後に、みよと叔母と母とが並んで写っている写真が一枚残っています。「・・・みよは、動いたらしく輪郭がぼつとしてゐた。叔母は両手を帯の上に組んでまぶしさにしてゐた。私は、似てゐると思つた。」と『思ひ出』の作品を結んでいます。

遠来の太宰ファンを、ここに案内しますと、「こんな近くに、みよさんとデートした葡萄畑があつたんですか・・・」と、感慨深げに太宰さんをしのんでくれます。



21世紀へ飛躍

決意新たに173人

平成十年度金木町成人を祝う会が八月十五日、中央公民館で行われ、百九名（対象者百七十三名）が出席し、新たに大人の仲間入りをしました。新成人を祝う式典で鳴海町長は「二十一世紀はみなさんが大黒柱。無限の可能性を求めて、頑張ってください」とあいさつ。今誠康県議会議員らが門出を祝い、祝辞を述べました。これに対し、新成人を代表して大橋幸美さん（金

木）が「向上心を持ち、成人としての自覚を持っていくその努力していきます」と謝辞。続いて、芦田嗣大さん（喜良市）と平川美香さん（嘉瀬）が「金木町に誇りを持ち、自らをさらに磨いて二十一世紀に向けて、しっかり歩んでいきます」と誓いの言葉を述べました。

最後に、中学時代の恩師が立派に成長した新成人の思い出を語りながら、新成人と一緒に当時を懐かしんでいました。



▲謝辞を述べる大橋幸美さん



▲新成人との思い出を語る秋元先生(金木中)



▲久々の再会に食べるのも会話するのも大忙し

金木病院カルテ ⑮①

在宅医療について

総婦長 工藤 アサ

在宅療養とは、家庭において、寝たきりまたはそれに準ずる状態にある患者さんで、通院が困難な方々に対して、病院の方から医師や看護婦が居室を訪問して、家族に療養の仕方や看護について助言したり、それぞれの家庭での看護力を、介護力さらにその技術を高め効果的な在宅介護が継

続できるように、側面的に援助する制度です。当院では、診療や看護、または療養上必要な指導や援助、食事の取れない方や排尿困難な方々に管を入れたり、また定期的な交換したり、床ずれの処置や指導を計画的に巡回して実施いたしております。一人の患者さんに対して、医

年度	件数	金木町	中里町	延数
4	4	3	1	67
5	10	6	4	278
6	16	10	6	454
7	18	10	8	433
8	24	11	13	554
9	36	20	16	958

師と看護婦の訪問が月二回、看護婦だけの訪問が月二、三回の割合で行っております。当院では、平成四年十月より在宅訪問をはじめてきましたが、利用者は年々増加しております。

上記の様に、多くの方々のご利用をいただきました。訪問時は当日の朝、または前日に電話で症状等をお聞きして、それに合わせて処置の材料、薬等を準備して訪問しております。また、自宅で患者さんが急変したりした場合等は、電話でご連絡をいただき救急車等で来院してもらう様にしていますが、管が抜けた場合とか、または不孝にして自宅でお亡くなりになられた場合等は、こちらの方から訪問いたしております。

今年度六月より、在宅薬剤指導も実施いたしております。これは、薬剤師が月一、二回程度、薬の飲み方等の指導、副作用等のチェック、薬の飲み間違いのないように整理にかがってます。現在、訪問のメンバーとして、医師二名、薬剤師二名、

看護婦四名で定期的に巡回いたしております。どの訪問時にもご意見、ご質問等をお聞きしてお互いに連携を取り合って対処いたしております。また、保健婦との在宅訪問に関する連絡会を月一回開き情報交換を行ったり、お互いに連絡をして協力してもらっています。

在宅訪問のご希望がございましたら、一度、患者本人が内科外来に受診され医師の指示をお受けになってください。詳しく知りたい方は、来院（家族の方でよいです）、または電話五三三三一一一（内線二二三）にご連絡いただければご説明申し上げます。

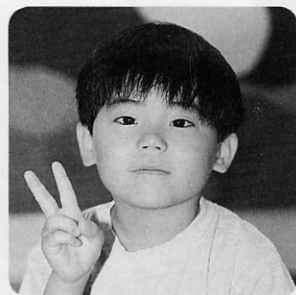
僕の夢・私の夢

ー第3保育所ー



ゆな 澤田 夢菜 ちゃん
(5才)【嘉瀬・下鍛冶町】

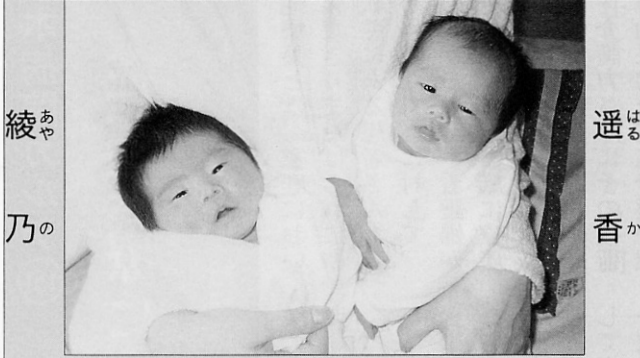
おじいちゃんと家でかけっこしたり、お姉ちゃんとけんかしたり毎日元気いっぱい。いちごやチョコレートがいっぱいついているケーキを作って、みんなに食べてもらいたい。カラオケに行ったりするけど、お母さんは歌がうまいんだよ！宝物はダイヤモンド？の指輪



はじめ 工藤 祝 くん
(5才)【嘉瀬・中派立】

りんごやバナナなど果物が大好き。兄が宝君と寿君で、めでたい名前の3兄弟。大きくなったら警察官になって、悪い人を捕まえたい。やさしいから女の子の人気の的(保母さん談)の祝くんはポケモンにたのしま夢中。「ちょっとだけど、奴踊りもできるよ」

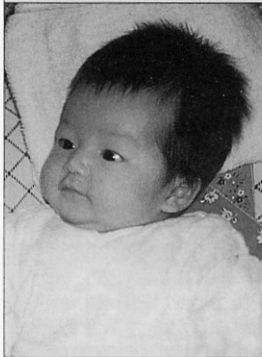
はじめまして



綾乃

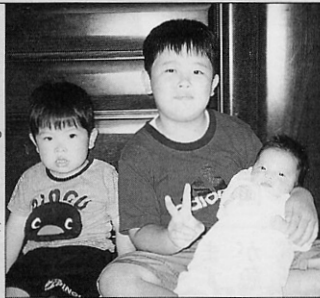
遥香

二人仲良く、元気で優しい子に育ってほしい
(母 りか子より)



有莉奈

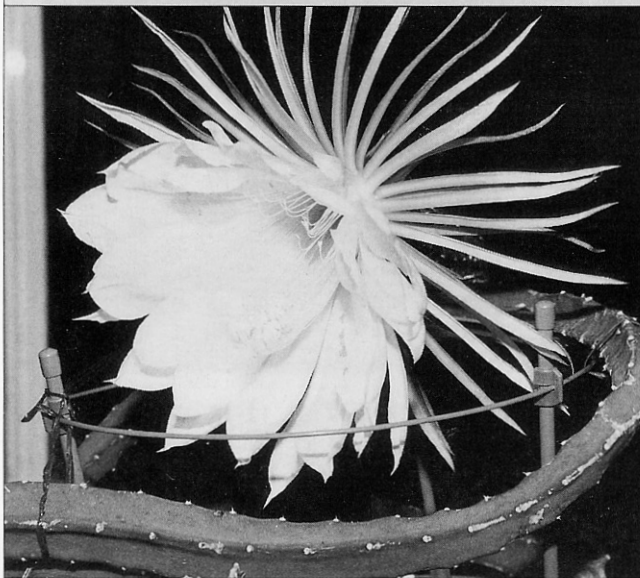
優しく思いやりのある子に育ってほしい (母 泰子より)



那 那

兄妹仲良く、健やかに！
(家族一同)

夜の女王



夏の夜に甘い香りを漂わせ、数時間だけ咲く純白の大輪の花。15年目で初めて開花。

(8月18日 米町・夏坂富治さん)

戸籍の窓

八月届出分

おめでとう

工藤 裕也 (勝治) 金木
藤 枝

おくやみ

澤田 武雄 (81才) 喜良市
宮舘 タケ (91才) 喜良市
山本 千代 (90才) 金木

(三村孝志(和夫)五所川原市
田中 薫(昭治) 金木

おしあわせに

白川 泰熙 (満) 金木
古川 綾乃 (清彦) 喜良市
古川 遥香 (清彦) 喜良市
加藤 奈那 (輝彦) 喜良市
徳田 有莉奈 (泰子) 金木
今 前田 清克 (67才) 金木
今 セツ (76才) 金木
秋元 定光 (63才) 嘉瀬
石戸谷 彌三五郎 (79才) 金木
今 要市 (40才) 喜良市

訂正とお詫び

広報かなぎ八月号に誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。
▼十八ページ
●木立龍希ちゃんのお母さんの名前は弘美さんでした。
●「おくやみ欄」藤元スミさんが藤井になっていました。

人口と世帯

	8月末現在	前年同月比
男	5,862人	△ 29人
女	6,449人	△ 26人
計	12,311人	△ 55人
世帯数	3,938	△ 2

伝言板

◎届いています
八月七日
「斜陽館」付近路上
(茶色の財布)
●八月二十二日 米町・ホームプラザ付近路上
(赤茶色の財布)
心当たりの方は、金木警察署 落し物係まで。
◎係から
このコーナーを利用した方は役場企画室まで。